

はたはた

千葉 良一 著

Vol. 14

八峰町関東ふるさと会 会報

2023年9月発行



満開のカミツレ（カモミール）

第十五回総会・懇親会 十五回記念の特別企画を準備中

八峰町関東ふるさと会会長 戸田 眞里

当ふるさと会員の皆様並びに八峰町と町民の皆様方には、日頃より当会の活動に格別のご理解とご厚誼を賜り、厚く御礼申し上げます。

去る七月の豪雨におきましては、被災された方々はじめ町民の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

また災害復旧に向け、町長はじめ担当の方々のご苦勞はいかばかりであつたかとお察し申し上げます。

すでにご存知の通り前町長森田新一郎氏は病氣療養中でしたが、ご病状が回復することなく、昨年十二月十日にお亡くなりになりました。

ここに生前のご厚誼に感謝し、ご冥福をお祈り申し上げます。

今年の八峰町は、堀内満也町長をはじめとした新体制でのスタートとなりました。新たな八峰町改革への取り組みに対して、大いにご期待申し上げます。また、当ふるさと会に對しましての変わらぬご理解とご協力に心より感謝申し上げます。

今年にはコロナも第五類となり、特別な規制無しでの開催を決定いたしました。十五回目という節目の年でもありますので、記念の行事を準備しております。主な内容として

は、総会の中での「(株)龍角散藤井隆太社長の講演」と、来年五月に予定しております「ふるさと訪問ツアー」です。

龍角散と八峰町との繋がりなど、藤井社長の講演はどのような内容になるのか大変楽しみにしています。

「ふるさと訪問ツアー」につきましては八峰町にご支援をお願いし、その他にも町内各宿泊施設や食事処などのご協力をいただきながら、必ず実現出来るものと期待しております。参加者の募集につきましては、ご案内の詳細をご覧ください、是非お申し込みください。よろしくお願いいたします。

十一月の総会・懇親会では皆様にお会いできますことを楽しみにしております。

また本日、会報委員の努力により完成しました会報『はたはた14号』をお届け出来ますことを大変嬉しく思います。

最後に八峰町民の皆様、当ふるさと会員の皆様、この会報をご覧いただきありがとうございます。皆様方のご健勝をお祈り申し上げます、私のご挨拶とさせていただきます。



関東ふるさと会の皆様へ

八峰町長 堀内 満也



ふるさと会員の皆様には、御健勝のこととお慶び申し上げます。

また、日頃より、ふるさと八峰町に想いを寄せて御支援いただいておりますことに心から感謝申し上げます。

さて、私が今年1月に八峰町長に就任してから約半年が経過したところであります。この大切なふるさと八峰町は、人口減少や少子高齢化がこれまでにない速度で進んでおり、日々の生活に様々な影響を及ぼしております。

私は、こうした状況に積極果敢に立ち向かうとともに、町の発展と成長への確かな道筋を付けていくことは今を生きる私たちの大きな使命であると捉え、町の創生に果敢にチャレンジしてまいります。

具体的には、町の基幹産業である農林漁業について、シイタケや大豆、ネギに加え、キキョウやカミツレなどの生薬栽培の生産拡大に取り組みとともに、漁港を活用したサーモン養殖（今年から「輝サーモン」のブランド名で出荷されました。）やギバサなどの磯根資源の育成等を推進いたします。

ふるさとは今

八峰町議会議長 皆川 鉄也



また、女性の様々な意見を町政に反映させ、地域や職場で女性が個性と能力を存分に発揮し、活躍できる環境づくりを進めるほか、県や地元商工会等と連携を図りながら、洋上風力発電が地域の活性化や人材の定着につながるよう取組を進めてまいります。

さらには、コロナで変化した観光トレンドに対応し、キャンプや登山などのアウトドアツーリズムを推進するほか、高齢者等が住み慣れた地域で生き生きと暮らし続けることができる社会の実現、活力あるコミュニティづくりの支援等を行うとともに、町政の運営指針であります「第二次八峰町総合振興計画」や「第二期八峰町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の着実な進展を図ってまいります。

本町は大変厳しい状況に直面しておりますが、さらなる町政発展のため、あきらめない強い心を持ち、町長としてのリーダーシップと責任を果たしてまいりますと考えておりますので、引き続き、ふるさと会員の皆様からの御指導、御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

八峰町関東ふるさと会のみなさんこんにちは。皆様におかれましては、ますますご健勝にてご活躍のこととご推察申し上げます。

7月14日夜から15日にかけて降り続いた大雨は、八峰町八森で24時間降水量が226ミリと観測史上最大を記録しました。住宅の浸水や農地の冠水、道路の寸断、土砂崩れなど過去に例のない被害となり、特に沢目、埴川地域では1400世帯以上が断水となりました。7月25日には、全地域で仮復旧となりましたが、水道のありがたさを再認識しました。

さて、昨年の関東ふるさと会総会では、議員一同大変お世話になりました。誠にありがとうございます。ご存知のように、病氣療養中であった森田前町長は、総会の後に辞職を申し出され、程なくして闘病の甲斐なく逝去されました。年末には戸田会長からも出席をいただき、お別れの会が挙行されたところでもあります。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

迎えた新年1月4日には町長選挙が告示され、堀内満也新町長が誕生しました。堀内新町長は年齢も若く秋田県庁職員としての経験も相まっ

て森田前町長の遺志を引き継ぎ町政発展のため懸命な努力を続けております。

八峰町は合併18年、間もなく20年を迎えようとしており、少しずつではあります。前に向かって動き出しているように感じております。注目の「輝サーモン」養殖事業、若手の漁業者と農家が共同で経営する海鮮井専門店、閉館した湯つこランドのサウナへのリノベーション、日本酒醸造所と併設したカフェ、そして洋上風力発電本促進区域に指定されている八峰・能代沖の事業化、道の駅移転と御所の台エリア再開発構想など将来を見据えた取り組みもスタートしております。

ふるさと会の皆様には日頃よりふるさと八峰町に思いを寄せて頂いておりますことに感謝しておりますが、少子高齢化による人口減少に歯止めのかからない現状に鑑みて、故郷でのライフワークなどの検討も如何でしょうか。11月19日に開催される総会・懇親会で皆様にお会いできることを楽しみにしております。終わりに関東ふるさと会のご繁栄と会員皆様のご健勝をお祈りしております。

はじめまして

八峰副町長 田村 正



八峰町関東ふるさと会の皆様、はじめまして。この4月から副町長の重責を担うことになりました田村でございます。生まれは、旧峰浜村の大久保岱で、現在は沢目駅前に住んでいます。

実は、37年前に旧関東峰浜ふるさと会の第2回総会にスタッフとして参加したことがあります。当時は、神宮球場近くの日本青年館で開催されたと記憶しております。さて、町の近況を少しお知らせしたいと思います。

コロナが5類に引き下げられ、八峰町の人流も徐々に増加してきています。県外ナンバーの車もかなり多くなってきた、コロナ前の状況に戻りつつあると感じています。

町内の行事やイベントも通常通り実施されるようになって、自治会や町内会の神社のお祭りが復活し、鹿島祭りの運行も行われ、久しぶりに賑やかさが戻ってきました。

今年の12月には、白神山地が世界自然遺産に登録されてから30周年を迎えることから、色々なイベントが企画されています。これを契機に観光客が増えることを期待していると

ころです。

近年、町の若者が頑張っていて、農業では、法人化を進めて水田と畑作物の複合経営をしている若手農業者や、生薬を栽培している農家も増えています。

漁業では、若手漁業者で組織する「八水」がサーモンの養殖事業に取り組み、県でも防波堤を延長して支援することになっています。秋田県のモデル事業になるものと期待されています。

また、若者有志が「地物食堂どはち」を立ち上げ、地元海の幸を使った海鮮丼を販売して、町を盛り上げようとしています。そのほか、ギバサの資源回復に取り組む「北部ギバサ増殖会」や、温泉施設を改修して「サウナカフェ」を開設しようとしている若い人もいますし、山本酒造店もブルワリー併設のカフェをオープンさせるなど、新しい取り組みがたくさん行われています。

人口減少や少子高齢化が進む中、八峰町に新しい風が吹いてきているような気がしています。町としてもこのような若い人達をできる限り支援していきたいと考えています。

明るく元気な子どもたち

八峰町教育長 鈴木 洋一



八峰町関東ふるさと会の皆様、こんにちは。4月1日から教育長を務めております鈴木洋一と申します。

小入川で育ち、鉄橋から日本海に沈む夕日を見るのが大好きな少年でした。父親は小手萩の神馬家の出身なので八森にも峰浜にも縁があります。

教員として八峰町では、観海小、岩子小、八森中、峰浜中、八森小に勤務し、2年前に能代南中で退職しました。

八峰町の子どもたちのよさ。それは、小学生も中学生も「明るく元気」なこと。子どもらしく、学校や地域で明るく元気な姿で地域に元気をお届けしています。

最近うれしいこと。それは、農業や漁業で若いお父さんたちが頑張っていること。お父さんの背中、お父さんを支えるお母さんの背中。子どもたちにとって大人がしっかりとした背中を見せることは大切です。その背中を見ることができる子どもたちは幸せです。きつと将来の自分の姿を重ねていることでしょう。

また、ことぶき大学では、おじいさんおばあさんに子どもたちに沢山

声をかけてあげてくださいねとお願いしました。これからも、子どもたちを中心に、明るく元気な町を目指していきます。

八峰町の教育のよさ。平成23年から全国に先駆けて実施してきたICT教育。全国でも学力が高い秋田県の「あきたの探求型授業」と「ICT教育」が合体し、子どもたちにしつかりとした力を付けることができます。

コロナ禍前には、町内宿泊の条件付きで全国各地からの教育視察を受け入れてきました。(北海道、青森県、岩手県、宮城県、千葉県、東京都、新潟県、和歌山県、島根県、愛媛県、熊本県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、大韓民国)今年度は、岩手県遠野市・金ケ崎町、鹿児島県天城町から申し込みがあります(6月現在)。子どもたちや先生たちが活躍する姿を沢山の方々に見ていただき、八峰町の名前を広げていきたいと思っています。

八峰町関東ふるさと会の皆さん、八峰町にお越しの際は、是非学校で直接子どもたちの姿を参観していただければありがたいです。

新店舗紹介

日本酒で国内外から集客し、町の活性化を期する ブルワリー&カフェがオープン

山本酒造店がブルワリー（醸造所）併設のカフェ「LABO and CAFE YAMAMOTO」を3月にオープンした。

山本社長は、「現在、酒蔵はツーリズムの目的地になっており国内外の日本酒ファンが地方の酒蔵を訪れている。八峰町の交流人口が増えることにより、地域の活性化につながることを願って開設した」という。

1階のブルワリーでは、主力の純米吟醸を中心に、出来立ての純米酒や純米大吟醸を提供。日本酒3種飲



※当店での現金払いは不可

み比べセット（100ml×3種と専用グラス付き）が2000円。

フランス人ピエール・エルメ・パリ製作の酒粕を使用したオリジナルマカロン（シラカミ）とコーヒージェットが950円、紅茶・ほうじ茶・カフェラテ等とのセットもある。フードセット（キッシュやテリーヌ等3種）は1200円。10月頃にはオリジナルのクラフトビールも提供。

山本社長によると、

●開店3カ月くらいの来客者は、「私の肌感覚では、平日は県内の客9割、土日祝日は県内の客7割。全体でも町内の客は2割程度。」

●今後の展望については、「古民家をリノベーションした宿泊施設や、富裕層を対象とした1棟1泊7〜8万円の宿泊施設を開業。電動アシスト自転車や大型バイク、カープンカー等のレンタル事業。自動車の代行業等を行う予定。」とのこと。

外観を特徴付ける大きなひさし、天井や内装、椅子やテーブル、トイレのシンクの樽などに秋田杉をふんだんに使用。店内はモダンながら和の落ち着いた雰囲気醸成。

■JR五能線・東八森駅徒歩3分。

■営業時間は午前10時〜午後4時。定休日は火・水曜日。席数28。

■席の予約☎070-1146-9430。

新店舗紹介

地元の新鮮な魚介類を8種類盛り込んだ海鮮丼で “町を盛り上げたい”と「地物食堂どはち」開店

漁業、農業、建設業、宿泊業に携わる30・40代の男性6人が八峰町を盛り上げたいと、令和3年に「D.O.八会」を結成。ど真ん中の「D.O.（ど）」と八峰町の「八」からネーミングしたという。

町の活性化事業の検討を重ねる中で合同会社「DOHACH（どはち）」を設立し、本年5月1日御所の台の産直ぶりこ内に「地物食堂どはち」をオープンした。

目玉メニューは、シイタケのダシでうまみを加えたご飯に、養殖の「輝サーモン」、ボタンエビ、タコ、アワビなど全て地元産の食材8種類入りの「どはち丼」2200円。小盛りの「どはち丼」は1400円（食



とキムチのピリ辛味の「まぐキム丼」が900円。生ビール1杯400円。他に、ソフトクリーム（ミルク／さるなし／ミックス）1個300円もある。ちなみに、「さるなし」はサルの大好物の木の実に、「こくわ」「ベビーキウイ」とも呼ばれるとのこと。

テイクアウト販売での提供だが、店内での飲食も可能。営業時間は午前11時から午後2時。時には12時前に売り切れるほど人気とのこと。「食の価値あり」に「食指が動く」か。

●DOHACHの構成メンバー（6人）
* 昨年日本蕎麦協会奨励賞を受賞した、はっぼう農園代表理事・米森雄大さん（峰浜石川）
* 菌床シイタケ生産・レンチナス奥羽伊勢代表・伊勢隼人さん（峰浜石川）
* 宿泊施設CRANDSオーナー・鈴木了さん（峰浜石川）
* 大森建設専務取締役・大森啓正さん（八森岩館）

材は季節によって旬の物に変わる。マグロ

* サーマン養殖の八水社長／魚介類ネット販売のfishdoor代表社員・菊地陽一さん（八森岩館）

* 八水副社長／fishdoor役員・千葉北斗さん（八森岩館）

広報『はっぼう』でみる 八峰町の出来事

広報『はっぼう』の申し込みは、八峰町役場企画財政課広報企画係まで 令和4年6月～令和5年4月
 TEL.0185-76-4603 FAX.0185-76-2113 年間購読 2,000円(毎月1回発行)



令和4年6月10日 八峰町の農業委員・農地利用最適化推進委員23人が参加して、遊休農地解消に向けて草刈り作業を行なった。



7月9日 海水浴シーズン前に、朝7時から自治会ごとに町民が集まり、海岸や付近の道路のゴミをクリーンアップ(写真は八森地区)。



8月30日 第37回学童新人野球山本郡予選大会で優勝した八峰グローリーの5年生4名が役場で優勝報告。9月17日から全県大会出場。



9月3日 令和4年度八峰町敬老式を開催。初養老118名、80歳(傘寿)97名、88歳(米寿)98名、金婚夫婦53組106名の対象者中68名出席。



9月22日 第42回ことぶき大学運動会が田中ミニ公園で3年ぶりに開催。種目は晩酌準備リレーやゲートボールリレー、玉入れ競争等で競った。



10月1日に八森こども園(写真)、10月15日に峰浜ポンポコこども園で運動会が開催された。



10月4日 鈴木水産が機械化製造で商品化した「ハタハタ入りメンチカツ」の試食会が役場で開催された。



令和5年1月21日、22日の2日間、第15回全町バスケットボール大会が全21チームが参加して八森体育館(旧八森中)で開催された。



4月7日 町内の小中学校の入学式。八森小学校に10名、峰浜小学校に14名、八峰中学校に33名の児童・生徒が入学。

ふるさと納税のご案内

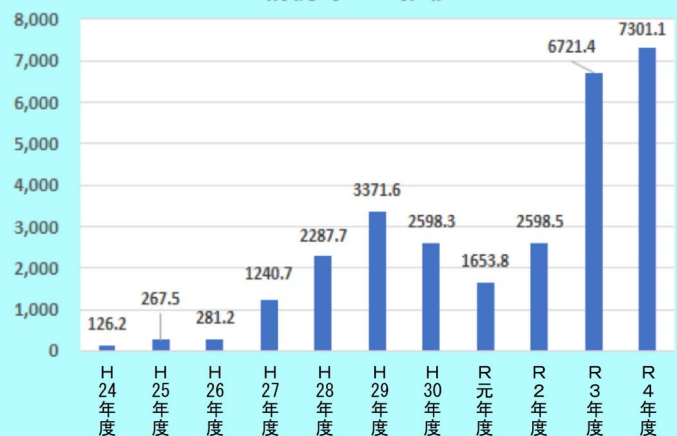
● **申し込み方法** ふるさと納税ポータルサイト:ふるさとチョイス/さとふる/楽天ふるさと納税/ふるなび/ふるさとぷらす/JREMALLふるさと納税、または「ふるぽコールセンター(☎0570-002-631)」からお申し込みください。

● **八峰町の寄附金実績** 令和4年度の八峰町の寄附金額は73,010,500円(前年度67,213,700円)、寄附件数は3,038件(前年度3,294件)。件数は256件減ったが、金額は5,796,800円増えた。返礼品に日用品を選択する人が例年より多かった。

● **寄附金の活用について** 昨年度と同様に、交通空白地・交通弱者対策として、バス待合室の設置費用に活用する予定。

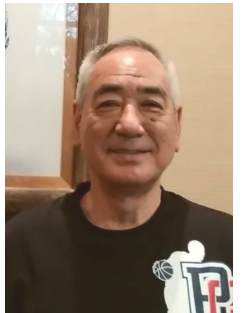
ふるさと納税寄附金推移

(単位:万円)



岩館で育った18年間の思い出

岡田 秋夫（東京都杉並区在住）
（岩館出身）



思い出すのは海水浴、地吹雪の通学路。私は昭和27年に生まれ、岩館駅前で育ちました。昭和34年に岩館小学校へ入学。同級生は男女合わせ全員で30名弱でした。岩館小学校は明治7年に創立され、当時の児童数は30名あまり。平成21年3月に閉校し、134年の歴史に幕を閉じることになり、残念でなりませんでした。

小学生時の一番の思い出は夏。毎日自宅の真下の海岸へ行って泳いだり、素潜りでサザエやアワビを探したりしたこと（今は禁漁です）。当時はまだ車社会ではなく、車で岩館海岸へ海水浴に来る方も多く、夕方は東能代行き（今は禁漁です）の岩館駅前の広場がいっぱいでした。

昭和40年に八森中学校へ入学し、汽車通学。思い出すのは冬です。八森駅から五能線沿いに通学路があり、地吹雪で大変だったこと。そして、隣の叔父と地元の海岸へハタハタを「輪っか」で採りに行ったことです。当時はすぐ大漁になりましたが、今はハタハタ漁が不漁で、高級魚になってしまいました。

昭和43年に能代工業高校へ入学し汽車通学。当時朝6時過ぎ岩館駅発

東能代駅行きは、日立製作所が大正13年に製造し「ハチロク」の愛称を持つ8620型蒸気機関車でした。

能代工業3年時バスケット部全国優勝

能代工業高校ではバスケット部に入部。3年間、毎朝の練習から始まり、365日バスケット漬け。バスケットには3つの決まり事があり、①礼には礼を尽くす②無断で練習を休まない③練習中、笛が鳴ったら全力で集合する。これは社会人になっても大変役に立ちました。3年生の昭和45年の和歌山インターハイと岩手国体で、2回目・3回目の全国優勝。当時の監督は故加藤廣志先生で、今も感謝の気持ちでいっぱいです。

平成25年に会社を退職後、毎年春と夏に岩館へ帰省します。温泉が大好きなので、帰省時にいつもハタハタ館へ行くのを楽しみにしています。両親はすでに亡くなりましたが、朝の海岸の散歩、家周りの片付け、夕方にはハタハタ館へと、田舎生活が満喫しています。地元の先輩や知人が魚、野菜、酒のつまみなどを届けてくれます。感謝、感謝です。

（編集部注…能代工業バスケット部は全国優勝58回、この記録は未だに破られていない）

大好きな工藤先生の事、少し

大久保 澄子（東京都狛江市在住）
（樺出身 旧姓 小松）



私は狛江市に住んでいます。小さな市ですが、何でも早くてコロナワクチンもニュースになる程にスムーズに出来ました。狛江には、昔から文化財が多く、多摩川の近くの土地から遺跡がたくさん出て、古墳塚もあります。

八森中学時代の恩師である工藤哲弥先生の事を書きたいと思います。一昨年、工藤

先生が亡くなられて、ショックを受けました。中学三年の時の担任だったのですが、毎年賀状を書き、ちゃんと返信をもらい元氣もいたっていました。先生は「20（ニンジュ）のニツクネームが自分でも気に入っていた様でした。毎回理科で20点満点の小テストをしていました。一番上の姉によると、「年も近くて、若い新任の先生が毎日バイクで学校へ来て、当時人気の『怪人二十面相』の様だった」そうで、そこから20になったのかな？



私のお母も96歳迄長生きして、大久保の義父も対抗心をもやして、お母さんより長生きすると、頑張っていました。94歳で旅立ちましたが、それでも長生きの方です。毎年、同級生10人位で立川市にある昭和記念公園で「たんぼ会」をやっていますが、コロナでしばらく出来ませんでした。

去年3年ぶりに八峰町ふるさと会が開かれて、きりたんぼをごちそうになって美味しかった良かったです。又なつかしい友に逢えたのも嬉しい限りです。ふるさと会がいつまでも続きますことを願います。役員さんも、いろいろご苦労様です。私も少しでもお手伝いしたいと思います。

昭和の良き時代が蘇る 3H（ハタハタハチロクハチモリ）

須藤 昌人（東京都目黒区在住）
（八森第一出身）



「もう数年で釜汽車が姿を消すよ」と国鉄職員である父から聞かされ、高校入学祝いのキャノンFTbの被写体が決まった。朝一番の通学列車には、カメラ小僧の高校生が集まり、写真談義に花が咲いた。兄から払い下げのバイクも加わり、撮影行動範囲も広がり、津軽まで友と追っかけたSLのハチロク（86）。



に届かぬ背の低い私は、残念ながら声が掛からなかった事が幸いして記録することができた。八中グラウンドでの町民運動会は、地域ごとにチームを設け、綱引き・

暗雲垂れ下がり雷が鳴り出す頃のハタハタ時期。ジジ亀代二（漁師）から受け継いだ血が騒ぎ、漁の記録をせねばと衝動に駆られ、下椿奈良重蔵叔父の番屋に寝泊まりしての撮影。夜通し続く網起こしに乗船して



のストロボ光には「まぶしなあ」の漁師の低い声。「申し訳ない」に尽きたハタハタ（撮影）。

昭和の良き時代を記録できた事は、私の礎となり写真で生きる力を与えてくれた事は言うまでもない。
●ハタハタ漁…1971年11月末横間港
●SL…1972年沢目駅 朝の増結
●3H写真展…2023年4月21日～8月20日ハタハタ館／4月20日～4月25日第二展示場（旧かがもく海産）にて開催。
（編集部注…本年開催の「第15回総会・懇親会」会場内にて、須藤昌人さんの写真展を同時開催。50年前のハタハタ漁・SL・人々が蘇ります）

能代工軟式野球部 念願の全国大会初出場

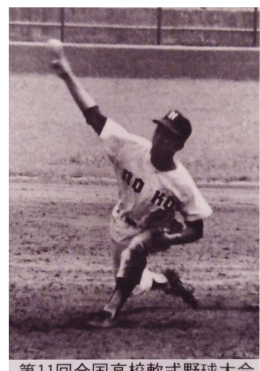
本多 義春（東京都目黒区在住）
（内荒巻出身）



私は、能代工業高校軟式野球部の投手・4番として、昭和41年夏の奥羽（秋田・青森・岩手）大会へ出場。この大会において、2日間で38イニング（回）連続で投げ抜き、奥羽代表として大阪藤井寺球場で開催された「第11回全国高等学校野球大会」へ能代工として初出場した。

この年の奥羽大会は秋田開催（開催県2校、青森・岩手各1校）のため、県予選の決勝戦は行わず能代工と秋田工が選出された。この奥羽大会では、弘前工と対戦し延長18回1対1のまま勝負が付かず翌日再試合、再試合も延長11回まで進み3x対2で勝利した。

日のように集落の広場で野球・ソフトボール等をして遊んでいた。昭和39年能代工に入り、心弾んで硬式野球部に入学するも途中退部。2年生の春、野球がしたい一念から軟式野球部へ入部した。専用グラウンドもなく市営球場の空き時間帯や陸上競技場の片隅等を利用し練習した。



第11回全国高校軟式野球大会

決勝戦は休む間もなく秋田工と対戦し2対0で勝ち、前日を含め38イニング連続一人で投げ抜き、念願の全国大会への切符を手にした。

翌日の毎日新聞の記事では、「能工、機動力を生かす」能工は、機動力を発揮し、快勝した。（中略）能工・本多投手は前日の引き分け試合を含め38イニング一人で投げとおしてきただけにさすがに後半はバテたが、内外角に速球とカーブを決めて秋工を散発3安打に封じた。」と掲載された。

全国大会では勝てなかったが、これまで野球で学んだ多くの事が私の生活のベースになっていると思う。

故郷

桜庭 あゆみ（千葉県市原市在住）
（小入川出身 旧姓 松橋）



高校卒業後銀行に就職した。勤務地は日本橋支店だった。3年半都都会人を経験できた。結婚を機に退職し千葉県民となった。しばらくして同じ銀行の千葉支店に勤めることができた。2度の銀行の統廃合を経験し津田沼支店、船橋支店と転勤し、平成30年に退職した。

銀行に勤めていた時、お客様に「桜庭さんの出身は東北？」とよく聞かれた。「えっ！分かるの？標準語のつもりだったけど・・・」。電話で話していると大抵分かるようだ。

最近では、犬の散歩で我家の前を通りかかった人が表札を見て「桜庭さんは秋田の人ですか？」と聞いてきた。思わず「んだす！」と答えてしまった（都会人はどこへやら）。その人の出身地は、鳥海山の麓矢島町とのことで山形県に近いところだ。お互い県の端っこの出であるが、「んだす」「んだすか」の共通語で「おすわり」は、「ねまれ！」と教えているそうで大爆笑してしまった。そして我家では、失敗の度に、男鹿出身の夫は「さい！」、私は「おーちゅー！」と秋田弁が飛び交っている。

両親も他界し帰省することがほとんどなくなった。しかし、五能線の風景、とりわけ小入川の鉄橋だけは目に焼き付いている。以前姉が五能線の風景の絵葉書を送ってくれた。鉄橋の上を走る汽車と青い海、夕日、紅葉、そして雪景色。自然の豊かさだけは自慢できる故郷だ。

中学生の頃まで蒸気機関車が走っていた。鉄橋の前で汽笛が鳴った。その度に何時の汽車だと時間が予測できたものだ。中学、高校とこの鉄橋を渡って通学した。汽車の窓から我家が見え、時々両親の姿も見えた。

小入川から岩館駅まで2キロ位あったらどうか。朝6時10分頃には家を出た。冬は寒かった。特に曲がりどめ（岩館と小入川の境にある大きなカーブ）の風は酷かった。海から吹く雪交じりの強風は、前に進むことができなかつた。いつも姉の後ろに隠れていた。前かがみにならないと進むことができなかった。

今は旅行客を乗せたリゾートしらかみ号が走っている。鉄橋の上で少しスピードを落とす。みんな海側を見ているが山側も見えてほしい。そこには小さな集落があるから。

親子の思い出にふるさと秋田への旅

吉田 恵美子（長野県栄村在住）
（石川出身 旧姓 高橋）



高校を卒業してすぐ上京し、保育専門学校に通い、保育の仕事で30年、自営業で20数年、70歳代で介護の資格をとり、3年程でしたが、勤めました。ふり返ると、本当に今まで元気で働き続けられた事に、感謝で一杯です。

東京で結婚し、3人の子供を産み育て、孫7人。現在、私自身は長野県最北端の栄村という小さな温泉村に移住し暮らしております。子供達家族は横浜在住です。

昨年コロナ禍の中で、1年遅れの喜寿祝いを3家族が集まって祝ってくれました。そのお礼というか、親子の思い出づくりを考え計画し、まが娘との秋田行きを、80歳目前の令和5年6月上旬に実現しました。

天気にも恵まれた娘との旅は、能代海岸の風力発電の風車の景色に驚き、また、92歳の従姉同伴で、白神山麓の麓十二湖まで足を伸ばし、途中日本海の荒波が静かにキラキラと太陽の光を浴び岩にぶつかる白波のしぶきの素晴らしさに、何ともいえず感動しカメラのシャッターを切る楽しい1日でした。

宿は、ふるさと会の会報『はたはた13号』に掲載されていた民宿【花みずき】を選びました。郷土料理だまこもち鍋の特別注文の美味しさと懐かしさで最高の幸せ。

また、石川に行き昔の隣近所へ挨拶に回り、娘が食べたいと口にしていた石川そばを茹でている場面に出会い御馳走になり、2泊3日の忘れられない旅になりました。

この旅で、遠い秋田が本当に近くに感じられた親子の思い出となりました。

この旅の事を息子達に話すと、早速今年の秋に再度秋田へ行く事が決まりました。

秋には2人の息子と行く秋田の旅を最高の宝物として、楽しみに待っている私です。



7月の豪雨で被災された皆様へ、心よりお見舞い申し上げます。

今年7月に発生した記録的な大雨により、秋田県内では多くの地域で河川の氾濫や家屋浸水、田畑の冠水、土砂崩れなど大きな被害が発生しました。

八峰町においても河川の氾濫による田畑の冠水、土砂崩れによる道路の寸断や水道管の破損での約10日間の断水が発生しました。

被災された皆様へ心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧をお祈りいたします。

八峰町関東ふるさと会

八峰町の被害状況

広報「はっぼう」

8月号から一部抜粋

7月26日、29日、国土交通省東北地方整備局の緊急災害対策派遣隊による7月豪雨の被害状況の調査結果報告が行われました。

先遣調査班が、7月21日～24日にかけて、町道と河川の被害を確認し、町道白神二ツ森線や夏井沢川など町道2路線、3河川で計68カ所の被害が確認されました。

その後、被害状況調査班が、7月24日～29日にかけて、町道白神二ツ森線等15カ所の被害規模の計測などを行いました。

首都圏秋田県人会連合会行事案内

◆第60回芸能大会

期 日:令和5年11月4日(土)10:30～17:00

会 場:文京区役所文京シビックセンター(小ホール)

東京メトロ 南北線、丸ノ内線「後樂園駅」下車、徒歩1分

内 容:民謡、歌謡、舞踊などの披露

※八峰町ふるさと会会員の新林靖夫さん、本多義春さんが歌謡部門で出場します。

◆令和5年度文化講演会

期 日:令和5年10月7日(土) 15:00～

会 場:アルカディア市ヶ谷 6階 阿蘇

演 題:「秋田の野菜で未病を改善しよう！」

講 師:藤田 智 恵泉女学園大学社会園芸学科教授

会 費:講演会のみ1,000円

懇親会:希望者のみ。会費8,000円(講演会費含む)

芸能大会・文化部イベントの問合せ・申込先
八峰町関東ふるさと会会長 戸田 眞里
電話:090-9816-5093
※芸能大会は入場無料、申込不要



秋田県漁業協同組合

Fisheries Cooperative Association of Akita

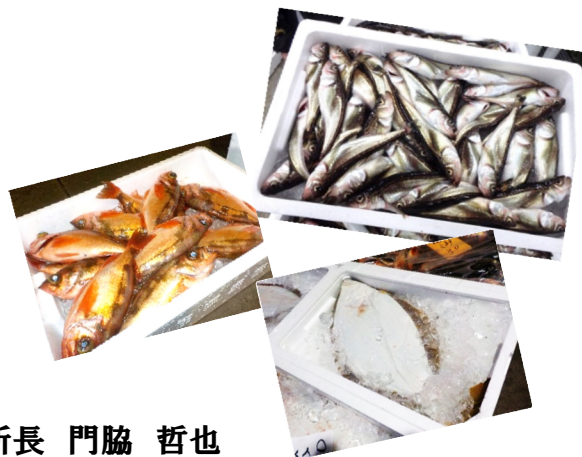
代表理事組合長 加賀谷 弘

北 部 支 所 TEL 0185(77)2255
FAX 0185(77)3387

〒018-2626

秋田県山本郡八峰町八森字横間156番地先

支所長 門脇 哲也



あふれる緑、大地と共に輝く未来

秋田やまもと農業協同組合

本 店 〒018-2104 秋田県山本郡三種町鹿渡字町後270
TEL:0185-87-4600(代) FAX:0185-87-4200

代表理事組合長 竹内 孝一

八峰支店 〒018-2503 秋田県山本郡八峰町峰浜字豊後長根65-1 TEL:0185-76-3151(代)FAX:0185-76-3959
支店長 大和 和也



3年振りに開催！ 八峰町関東ふるさと会

第14回総会・懇親会スナッフ

2022年11月20日(日) 於アルカディア市ヶ谷

紙面の制約上、掲載写真が限られてしまいます。写真は他にもあります。
当会ホームページをご覧ください。

八峰町ふるさと会 で検索、または右記QRでホームページにアクセスし、
メニュー → ふるさと会について → 総会写真アルバム → 年度選択 をご覧ください。



皆川議長乾杯発声



戸田会長挨拶



日沼副町長挨拶



成田所長挨拶



町の特産品を持ってきてくれました



特製「松花堂御膳」。もちろん、きりたんぽもあり



秋田県人会連合会有志による西馬音内盆踊り



町からご出席いただいた町議会議員の方々



姉妹・兄弟での参加です



旧八森中学校16期生の皆さん



埴川地区の皆さん



旧沢目中学校の仲間



家族・親類が集まりました



旧八森中学校15期生の皆さん



皆さんの笑顔が素敵です



旧八森中学校12期生の皆さん



抽選会で会長賞をゲット!!



みんなで唱歌「ふるさと」を合唱

おらほの館

地元野菜の販売とご当地ソフトクリーム

TEL 0185-76-4649



おいしい

道のレストラン はっぼう TEL 76-4455
八峰町峰浜沼田ホンコ谷地147-6 道の駅となり

ふるさとの味と香り、おいしさそのまま贈ります。

秋田名物

きりたんぼセット



地方発送
承ります

10月上旬から
2月下旬まで
発送いたします。

申し込みご予約は

TEL. 0185-76-2529 FAX. 0185-76-3156

〒018-2507

秋田県山本郡八峰町峰浜田中字大土面17

レストラン **峰**

ホームページ <http://www.shirakami.or.jp/~mine/>

お薬のこと、健康のこと … etc
何でもご相談ください!

皆川薬局

八峰町峰浜水沢字稲荷堂後120-6

TEL.76-2052・FAX.76-2199

営業時間 8:00~18:00/休業日 日曜日・祝祭日



~笑顔と真心~

一日一組限定のお宿です

東能代駅もしくは向能代駅までの
送迎があります



八峰町産生薬のキキョウ根と
こだわりの原材料を使った
おかず味噌を販売中です

〒0185-2505

秋田県山本郡八峰町峰浜内荒巻家ノ上41

Tel:0185-76-3778 Fax:0185-76-2954

e-mail: motenasi.jun.susiume@ezweb.ne.jp

<http://www.junko-hanamizuki.com/>

~新鮮食材 全国発送いたします!!~

水木食品ストア

Instagramで
日々更新中
@haruka_mizuki



〒018-2501

秋田県山本郡八峰町峰浜水沢字水沢67-1

TEL・FAX 0185-76-2031

メール mizuki728@hotmail.com

ホームページ <https://r.goope.jp//mizukistore>

◆八峰町のふるさと納税に「きりたんぼ鍋セット」他
協賛しています。

◆ご注文はメール・ホームページからお申し込みください。

小物農機レンタル!

(レンタル機につきましては、
1日以上とさせていただきます。)

| | | | | | | | |
|----------|----------|----------|-----|--------|------------|----------|----|
| 背負動噴霧器用 | 1日3,000円 | 2台 | 溝切機 | 乗用、ほか | 1日5,000円 | 2台 | |
| 動力散布機 | 粉と粒 | 1日3,000円 | 2台 | 管理機 | 耕巾500mm | 1日3,500円 | 3台 |
| エンジンポンプ | φ25mm | 1日2,000円 | 3台 | 高速洗浄機 | エンジン付 | 1日3,500円 | 1台 |
| 刈払機 | 背負・肩掛 | 1日3,500円 | 5台 | 発電機 | 100V、5.5kW | 1日3,500円 | 1台 |
| チェーンソー | 中 型 | 1日3,500円 | 3台 | ウイングモア | φ700mm | 1日4,500円 | 1台 |
| ハウス用オーガー | φ35mm | 1日3,500円 | 1台 | スプレッター | 手 押 | 1日2,000円 | 1台 |

農家のパートナー

小物農機・販売サービス

AV アシザキ NOUKI

〒018-2504 山本郡八峰町峰浜石川字外林33-21 TEL・FAX 0185-76-2884

暮らしの難儀事、不動産の 困り事ありませんか?

遺言書の作成、相続の手続き、官公庁への申請書類、契約書の作成、車のナンバー変更、成年後見の手続き、空家・空地の賃貸や売買、空家の解体などの相談所です。相談は無料ですよ。

●工藤金悦行政書士事務所

携帯 090-3365-8232 ☎ 0185-77-2670

住所：八峰町八森字浜田171

●はっぼう宅建紹介

携帯 090-3365-8232 ☎ 0185-74-6110

ふるさと会へのお誘い

関東地区にお住まいの方をご紹介下さい

現在の会員はほとんどが60歳以上です。60歳未満の方々はふるさと会の存在をご存じない方が多いと思われます。ご家族、友人で該当する方がおられましたら、お声がけをお願いします。



年1回の同級会を兼ねた懇親会


”おめだば、ふるさと会さ
入ってらがぁ”

お問い合わせ、申込は
ふるさと会事務局まで。

TEL/FAX 0467-54-2007

携帯TEL 080-1002-3510

あきた白神体験センター



当センターは、海まで3分山まで3分と好立地条件で、自然体験、工作体験、食づくり体験などサポートします。宿泊もリーズナブルなお値段ででき全室オーシャンビューです。ぜひ一度おこしください。

〒018-2617 秋田県山本郡八峰町八森字御所の台53-1
 (JRあきた白神駅近く、ハタハタ館となり)
 TEL 0185-77-4455 FAX 0185-77-4456
 【問い合わせ時間】9:00~17:00
 E-mail ●shirakami-tc@town.happou.akita.jp
 HP 検索 ⇒ あきた白神体験センター

自動車の点検・整備、修理、
 消耗品交換など。

山本自動車整備工場

お気軽にお電話ください。

住 所：八峰町八森滝の上70-2
 電話/FAX：0185-77-3685

— 途絶えなかった訳がある —

伝承 千年

☎ 0120-022170 FAX 0185-77-3601
<http://www.suzuki-suisan.co.jp/>

米の国・秋田が育んだ **秋田名産**

はたおぼし **鱒**

低温熟成発酵 秋田産 鱒
 麹を使わず、お米と人参・生姜でじっくり
 低温熟成発酵させた鈴木水産謹製の鮎鮓です。

秋田(株)鈴木水産 SUZUKI-SUISAN

地域と共に!

Smart Eco Life Akita SELAグループ
SELAシロキ

Panasonic エルポートシロキ

八峰町八森字中浜 TEL 77-2323・FAX 77-2324

病院からもらった処方箋の事など、
 お薬のことなら専門の薬剤師が丁寧に説明いたします。

LINUS PHARMACY

ライナス薬局

TEL.0185-70-4160
 FAX. 0185-70-4170 八峰町八森字古屋敷13-6

月~土/朝8:00~夜7:00
 休日/日・祝日

白神の海と大地の夢を育む

白神八峰商工会

会長 大森 三四郎

秋田県山本郡八峰町八森字中浜41-3
 TEL:0185-77-3161 FAX:77-3008

Shirakami
白神
 秋田・八峰町

あわびの里づくりまつり
 令和6年8月第一土曜日開催予定
 ☆参加者には2年後に「あわび」をお送りします。

日本海と白神山地が出逢う宿 **海の幸たっぷりのお料理とあったかい温泉で**
心と体を癒してください

ご宿泊
 ・美しい景色を一人占め
 ・特別な時間をゆったりと過ごす

八森いさりび温泉

ハタハタ館

ホームページ: <http://www.hatahatakan.jp/>
 秋田県山本郡八峰町八森字御所の台51番地
TEL:0185-77-2770(代)



NPO法人
白神ネイチャー協会

白神ネイチャー協会の活動内容、入会申込等につきましては、下記までご連絡ください。

会員及びボランティア参加者募集

世界遺産に登録された白神山地周辺部でブナの森づくり活動を通して、白神山地世界自然遺産地域の保全を確実なものとし、また、ブナの森づくりを行うことによって、白神の森から良質で良好な水の供給を図り、地域のシンボルであるハタハタ等の魚類の産卵ふ化する藻場「海の森」の再生につなげます。

白神山地 植えようブナを、育てようあなたの心

白神ネイチャー協会事務局

■ TEL : 0185-70-4211 ■ FAX : 0185-70-4214
■ URL <http://www.shirakami.or.jp/~asna/index.html>



白神山地の大自然と
共に歩んで百有余年
八峰町産の酒米で
造った酒を
海外十二カ国に
輸出しています。

白瀑・山本
山本酒造店

〒018-2678

秋田県山本郡八峰町八森字八森269

電話 0185-77-2311 FAX 0185-77-2312

E-mail info-shirataki@shirakami.or.jp



苦楽を共にする蔵人、数々の受賞歴は我々の誇り

森のリゾート、海のリゾート

あきた 白神温泉ホテル

八峰町八森字磯村100番地

TEL 0185-77-2233



秋田料理
酒香童子
ひゃ てん どり び

東京都墨田区
東向島2-30-11-1F
TEL: 03-3619-1676

鶏味噌焼
かしわゆ
曳舟

〒131-0032
東京都墨田区東向島2-11-21
TEL: 03-3612-4129

カクチ ではない価値
「ここにクオーレがあってよかった」
そういう存在であるために
私たちは誠心誠意、葬儀に取り組みます

クオーレ (株)JA山本葬祭センター
虹のホール
能代市字五雲岱16-3 TEL.0185-54-3004

四季の語り、
くつろぎのひととき。

BANQUET 宴会・会議
ACCOMMODATION 宿泊
RESTAURANT レストラン

アルカディア市ヶ谷
私学会館

JR線 地下鉄 市ヶ谷駅 徒歩2分
宴会 03-6685-0540
宿泊 03-6685-0541
東京都千代田区九段北4-2-25

門脇家 おーる秋田・ふるさと館
みんなの実家

あんべいな秋田県
高貴な田舎
AKITAVISION

こんなことに利用できます
◎首都圏からの帰省時、気軽に立ち寄る宿泊場所として
◎宿泊研修の場所として
◎グループでの旅行の宿泊に
◎移住体験場所として

アクセス
☆秋田自動車道「秋田北IC」出口より3分
☆JR秋田駅より約10km
☆JR土崎駅より約5km

〒010-0136 秋田県秋田市上新城中片野36-35
館長 門脇 成英 携帯 090-2660-2000
電話 018-853-0901 FAX 018-853-0908
URL <http://www.all-akita-furusato.jp>

～首都圏でお葬式・終活などお悩みの方へ～
相談室を開設しました
わかば相談室(東京・南千住) ※住所は下記にて

お気軽にお越し下さい(事前連絡が必要です)
また、電話やオンラインでの相談、当社からの訪問も承ります
首都圏 ↔ 秋田の双方向でサポートいたします!

～首都圏にご親族がお住まいの方へ～
上野 寛永寺輪王殿で
家族葬や一般葬などが行えます

上野 寛永寺輪王殿
〒110-0007 東京都台東区上野公園 14-5
東日本メモリアルサービス限定の優待特典あります
お問い合わせは下記TELまで

寛永寺 指定葬儀社
(株)東日本メモリアルサービス
TEL 080-3274-5681 | 成田竜也まで(旧鷹巣町出身)

〈秋田営業所〉秋田市上新城中片野36-35 FAX018-853-0908
〈わかば相談室〉東京都荒川区南千住5-16-17 わかばホール

第15回八峰町関東ふるさと会総会・懇親会案内

- ★開催日: 令和5年11月19日(日) 例年より30分早く
なっていますので
ご注意ください
- ★会場: アルカディア市ヶ谷
- ★受付: 10時30分～
- ★総会: 11時30分～11時55分
- ★特別講演: 12時00分～12時25分
- ★懇親会: 12時30分～15時30分
- ★懇親会費: 6,000円
学生: 3,000円、小学生以下: 無料

- ★年会費: 1,000円
- ★会場へのアクセス
- 地下鉄有楽町線・南北線 市ヶ谷駅 1またはA1出口
- 地下鉄新宿線 市ヶ谷駅 A1またはA4出口
- JR中央・総武線(各駅停車) 市ヶ谷駅
- ※上記出口から徒歩約2分



特別講演 株式会社龍角散 代表取締役社長 藤井 隆太 「龍角散と八峰町のつながり」

■藤井 隆太氏プロフィール
 1959年11月9日 東京都生まれ。1984年桐朋学園大学音楽学部研究科修了後、大手製薬メーカーに入社。三菱化成工業(現・三菱ケミカル)を経て、1994年龍角散入社、1995年代表取締役社長に就任。
 世界で初めて開発した服薬補助ゼリー「らくらく服薬ゼリー」、「おくすり飲めたね」のヒット、基幹商品「龍角散」の姉妹品「龍角散ダイレクト」、「龍角散ののどすっきり飴」の投入などで累積赤字を一掃。売上を就任時の5倍まで伸ばす。
 また、東京都家庭薬工業協同組合副理事長、日本家庭薬協会副会長を歴任するなど、業界の発展に尽力しながら、フルーツ奏者としてコンサートへの出演や後進の指導にもあたっている。
 (公社)東京生薬協会会長、厚生労働省社会保障審議会医療保険部会臨時委員、東京商工会議所一号議員、日本商工会議所社会保障専門委員。
 東京生薬協会会長として2017年度 薬事功労者厚生労働大臣表彰受賞。

■会社プロフィール
 江戸時代に秋田の藩主の喘息を治すために誕生した龍角散は、明治維新以降、広く国民のための薬となりました。以降、鎮咳去痰薬「龍角散」、「龍角散ダイレクト」をはじめとする医薬品、「龍角散ののどすっきり飴」、服薬補助ゼリー「らくらく服薬ゼリー」「おくすり飲めたね」などを製造販売するのどの専門メーカーとして皆様の健康に貢献しております。1871年創業。

＜編集後記＞ 「八峰町『御所の台エリア再構築構想』(令和5年6月)」が発表された。基本構想は、建設後約30年経過し老朽化した「道の駅はちもり」を御所の台エリアへ移転。ハタハタ館へ産直ぶりの物産販売を統合し、単身・少人数用の宿泊施設を新設、駐車スペースの拡充、24時間利用できるトイレ・ドライバーの休憩コーナーを充実させ、「道の駅」の機能を強化するというもの。
 町、商工会、観光協会、各種検討部会による「御所の台エリア賑わい創出協議会」(仮称)を立ち上げ、令和6年中に協議を進めて、令和7年中には基本・実施設計を行い、令和9年中にリニューアルオープンする4年計画である。八峰町の令和5年の総人口は6,500人弱。国立社会保障・人口問題研究所によると、17年後の令和22年には3,500人弱と推計されている。今後10年余りが町隆盛の正念場かもしれない。町外在住の私達も応援していきたい。(須藤)

- ### 八峰町関東ふるさと会 役員一覧
- 会長: 戸田 眞里
 - 副会長: 須藤 正喜、成田 勘一
 - 幹事長: 芹田 忍
 - 副幹事長: 本多 義春
 - 幹事: 飯田 良子、北郷 洋子、
菊地 久美子 庄内 俊憲、
武石 敦、塚本 康子、
三浦 博、吉江 后子
 - 監査役: 麻木 固磨、船越 鉄実

八峰町関東ふるさと会事務局
 〒253-0004
 神奈川県茅ヶ崎市甘沼880-9 芹田 忍 方
 TEL/FAX 0467-54-2007

- ◆ 発行: 八峰町関東ふるさと会
- ◆ 発行責任者: 戸田 眞里
- ◆ 編集委員: 須藤 正喜、飯田 良子、芹田 忍